

タイ洪水

工業団地 新たに冠水

首都浸水阻止へ懸命作業

【バンコク共同】タイの大規模洪水は15日、中部アユタヤ県の

バンパイン工業団地が新たに冠水、被害が拡大した。政府は首都バンコクの浸水を阻止しようと、チャオプラヤ川の防護壁を強化するなど懸命の作業を続けている。

A M D A の2人
バンコクに到着

被災者を支援

バンパイン工業団地には日系企業を含む約90社の工場があり、工業省によると、敷地内は約80センチの高さまで水があふれているという。

これで、アユタヤ県に5カ所ある工業団地のうち4カ所が冠水し

たことになり、工場が水に漬かる被害を受けた日系企業は約300社に上った。

【バンコク共同】タイの洪水被災者を支援

するため、岡山市の国際医療援助団体A M D A の保健師（看護師）ら2人が15日までに、バンコクに到着した。

A M D A によると、今回の洪水支援でタイ入りした非政府組織

（N G O）はA M D A が初めて。2人は15日、

タイ政府の洪水被害対策センターを訪れ、当局者から要望などを聞いた。18日には日本から医師も合流し、被災者の医療支援活動を始める予定。



15日、タイの首都バンコクのチャオプラヤ川近くで浸水した市場（ロイター＝共同）